

町指定文化財

18 絹本著色 阿弥陀三尊来迎図

あみださんそんらいごうず



第4世融伝上人が加賀白山より伝授され、当山の本尊仏として伝来しています。立像系斜め向き来迎図であることや、極端に姿勢の異なる両菩薩の組み合わせであること、巨大な二重頭光などから製作年代は、南北朝時代のものといえます。また一幅一尊で三幅とする形式は立像系阿弥陀来迎図として類例が少なく、中世来迎図の展開を解明する上での貴重な文化財です。